

## 平成 31（令和元）年度事業報告

令和 2 年 3 月 31 日に学校法人のびる学園の運営する幼保連携型認定こども園のびる幼稚園は 2 年目の年を終了いたしました。4 月は新学年を園児数 176 名で迎え、最終的には途中入園・転入園等で 3 月の保育開始時で園児数は 195 名になりました。保育ニーズの高まりもあり、3 号認定児は定員一杯の幼児が利用しました。園内の行事等はほぼ計画通りに行いましたが、年度末に発生した新型コロナウイルス感染症拡大懸念の影響を受け、ミニコンサートと卒園式は大幅に縮小した形で実施いたしました。ミニコンサートでは、保護者参観の時間を学年ごとに設定し、遊戯室は各学年の発表終了後に保護者の入れ替えを行い、都度消毒を実施しました。また、卒園式は世帯の入場人数を制限し、お別れイベントや在園児の参加は取り止めました。思い出に残る行事がこの様な形になり大変残念ですが、今後も懸念されることであるので新年度に向けより一層警戒を強めなくてはならない事案であると再確認いたしました。その様な中で 56 名の園児たちが元気に園を巣立っていきました。幼稚園時代の定員を受け継いだ学年でしたので、定員 50 名を 6 名超えた学年でした。令和 2 年度園児募集はその学年の穴を埋めるべく、遅滞なきように募集を行い、特に問題もなく終了いたしました。

保育目標は、園内外の研修活動を引き続き積極的に行いました。また、職員会議等の記録はシフトや預かり・延長保育等で参加できなかった職員も確認出来るようにし、必ず情報を共有するように努めました。父母会とは、保育だけでなくプール活動の為にプール設営や着替えの補助・行事時の駐車場整理等の連携作業を行っていただいた。また、のびる祭りやプレクリスマス会で地域の方を招待し、園の活動をアピールすることによりより一層の理解を得ることが出来ました。この他に、小学校との連携・中学生の職業体験・地域老人会への園庭開放等を行いました。

施設については、新園舎が当年度末で無償保証期間を終える為、年度末に法人・設計・建築の 3 者で園舎を点検し、修繕が必要な箇所は無償で修繕しました。遊具は職員による日常点検を予定通り行い、業者による点検も実施しました。結果、経年劣化等による破損の恐れのあるものは、修繕もしくは廃棄新規購入を行いました。

管理運営においては、当年度に避難訓練記録に記録漏れが発生したので、記録簿ひな型を作成し、管理職で確認を徹底することにいたしました。当年度末は 2 名の非常勤職の退職申出があったが、新規採用をすることが出来ませんでした。昨今の保育教諭不足為、人材確保は大変困難であると同時に急務であると考えます。引き続き、求人を行う予定であります。

財務においては、健全に運営された。借入金の返済に据え置き期間があったので預金は結果的に増加した。また、OS の保守期間が終了したので、事務パソコンの買い替えを行いました。